

科目名		学科/学年	時期	授業形態
介護福祉実習		エステティックマスター学 科/1年	前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	60回	2単位(60時間)	必須	
授業の概要				
介護職員初任者研修に参加し、介護の基本を学ぶ。高齢化社会が急速に進む日本において、今後介護を必要とする方の人数はますます増えていくことが予想される。そういった背景や介護の現場、介護をする上での実践知識をテキスト、映像、ロールプレイングを交えながら学んでいく。				
授業終了時の到達目標				
介護とは何か、老化とは何かを学び、こころとからだの仕組みを理解する。 介護職員初任者研修を修了し、修了証を取得する事を目標とする。				
教員紹介				
介護の現場で働いていた講師が、実務経験に基づいて授業を行う。				
回	テーマ	内容		
1～ 3	介護福祉実習①	職務の理解①		
4～ 7	介護福祉実習②	職務の理解②		
8～ 10	介護福祉実習③	介護における尊厳の保持・自立支援 介護の基本		
11～ 14	介護福祉実習④	介護の基本 介護・福祉のサービスの理解と医療との連携		
15～ 17	介護福祉実習⑤	障害の理解I		
18～ 21	介護福祉実習⑥	老化の理解I・認知症の理解I		
22～ 24	介護福祉実習⑦	老化の理解II・認知症の理解II(1)		
25～ 28	介護福祉実習⑧	認知症の理解II(2)		
29～ 31	介護福祉実習⑨	介護におけるコミュニケーション技術		
32～ 35	介護福祉実習⑩	心とからだのしくみと生活支援技術(基礎知識1)		
36～ 38	介護福祉実習⑪	心とからだのしくみと生活試験技術(基礎知識2)		
39～ 42	介護福祉実習⑫	心とからだのしくみと生活支援技術(基礎知識3)		
43～ 45	介護福祉実習⑬	こころとからだのしくみと生活支援技術(生活と家事)		
46～ 49	介護福祉実習⑭	こころとからだの仕組みと生活支援技術(快適な居住環境整備と介護)		
50～ 53	介護福祉実習⑮	こころとからだのしくみと生活支援技術(介護課程の基礎的理解)		

回	テ ー マ	内 容		
54～ 56	介護福祉実習⑩	振り返り		
57～ 60	介護福祉実習⑪	修了試験とまとめ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
介護初任者研修 テキスト1～5 受講生証・エプロン・教科書・ノート・筆記用具		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	